

International Japan Joint Symposium 1

Cutting edge of HBV in Asia

第 1 日目 6 月 13 日 (木)

第 1 部 8 : 30 ~ 9 : 30

第 2 部 9 : 30 ~ 11 : 30

第 1 会場 (熊本城ホール 4 階 メインホール)

第 1 部

司会 Masayuki Kurosaki Department of Gastroenterology and Hepatology, Musashino Red Cross Hospital

Jia-Horng Kao Hepatitis Research Center, National Taiwan University Hospital

SY1-1-1 Update on novel drug development for hepatitis B

Department of Medicine, School of Clinical Medicine,

The University of Hong Kong, Hong Kong, China Man-Fung Yuen

SY1-1-2 Antiviral and liver protection by an immune therapy for patients with chronic hepatitis B :
Discontinuation of nucleoside analogs in sight

Department of Gastroenterology and Metabology, Ehime University

Graduate School of Medicine, Ehime, Japan Sheikh Mohammad Fazle Akbar

SY1-1-3 New Therapeutic Strategies in HBV Management : Simplified Treatment and New Drugs

Department of Internal Medicine, Yonsei University College of Medicine, Republic of Korea Sang Hoon Ahn

B 型肝炎診療 Cutting edge

第 2 部

司会 鈴木 文孝 虎の門病院肝臓センター
 伊藤 清顕 愛知医科大学肝胆膵内科
 Jia-Horng Kao Hepatitis Research Center, National Taiwan University Hospital

- SY1-2-1 HBV 持続感染患者を対象とした bepirovirsen の国際共同後期第 II 相試験におけるレスポ
 nder の効果の持続性
 熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座 田中 靖人 (たなか やすひと)
- SY1-2-2 ウイルスマーカーから見た PegIFN 開始後の長期経過における HBsAg 陰性化予測
 大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 小塚 立蔵 (こづか りつぞう)
- SY1-2-3 HBe 抗原陰性 B 型肝炎患・核酸アナログ中止症例における HBV RNA 定量検査の有用性
 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器代謝内科学 鈴木 孝典 (すずき たかのり)
- SY1-2-4 高感度 HBcrAg 量測定を用いた HBe 抗原陰性 B 型慢性肝疾患におけるアウトカムの比較
 虎の門病院肝臓センター 保坂 哲也 (ほさか てつや)
- SY1-2-5 B 型肝炎既往感染者における iTACT-HBcrAg の臨床的有用性に関する検討
 信州大学医学部附属病院内科学第二教室/
 信州大学医学部健康推進学講座 小林 浩幸 (こばやし ひろゆき)
- SY1-2-6 HBsAg 消失例における肝組織内 cccDNA 量—HBsAg 陽性例との比較解析から鳴らされる
 警鐘—
 東京大学医学部附属病院人工臓器・移植外科 斐 成寛 (はい なるひろ)
- SY1-2-7 B 型慢性肝炎患者における血清 HBs 抗原値低下と末梢血中古典的単球による IL-1 β 産生の関連
 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 滋野 聡 (しげの さとし)
- SY1-2-8 B 型キャリアに発症した急性肝不全, LOHF および ACLF の実態: 全国調査の解析
 埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科 中山 伸朗 (なかやま のぶあき)
- SY1-2-9 HBV と NTCP の結合を阻害する胆汁酸誘導体による新規抗 HBV 薬の開発
 愛知医科大学医学部肝胆膵内科 奥村 彰規 (おくむら あきのり)
- SY1-2-10 HBV-RNA destabilizer SAG-524 の新規作用機序と臨床応用に向けた *in vivo* での有効性評価
 熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学分野 渡邊 丈久 (わたなべ たけひさ)
- SY1-2-11 新規長時間作用型核酸アナログ E-CFCP は HBV 感染細胞内 cccDNA 量の低減を起こす。
 国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所
 難治性ウイルス感染症研究部 鎌田 伸好 (くわた のぶよ)
- SY1-2-12 自然免疫を活性化し HBV の複製を抑制する新規低分子化合物の開発
 東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 古谷 裕 (ふるたに ゆたか)

International Japan Joint Symposium 2

Cutting edge of HCV in Asia (post-SVR issue)

第 2 日目 6 月 14 日 (金)
第 1 部 8 : 30 ~ 9 : 30
第 2 部 9 : 30 ~ 11 : 30
第 3 会場 (熊本城ホール 3 階 A1)

第 1 部

- 司会 Yasuhiro Asahina Department of Liver Disease Control, Tokyo Medical and Dental University
- Ming-Lung Yu School of Medicine, College of Medicine, National Sun Yat-sen University, Kaohsiung, Taiwan
- SY2-1-1 Unmet clinical needs in the post-DAA era : the risk and molecular mechanisms of HCC after SVR
National Sun Yat-sen University, Taiwan Ming-Lung Yu
- SY2-1-2 Miracle of Breakthroughs in Hepatitis C : from Discovery to Cure and Elimination
Institute of Clinical Medicine, National Yang Ming Chiao Tung University, Taiwan Mei-Hsuan Lee
- SY2-1-3 Remaining Issues with Hepatitis C
Department of Gastroenterology and Hepatology,
Hokkaido University Graduate School of Medicine, Japan Goki Suda

C 型肝炎診療 Cutting edge

第 2 部

- 司会 坂本 直哉 北海道大学大学院医学研究院消化器内科学教室
 中川 美奈 東京医科歯科大学統合教育機構/消化器内科
 Ming-Lung Yu School of Medicine, College of Medicine, National Sun Yat-sen University,
 Kaohsiung, Taiwan
- SY2-2-1 C型肝炎キャリア拾い上げにおいて、HCV 抗体陽性者に対して残血清を用いた HCV コア抗原測定法併用の臨床的有用性
 国保依田窪病院内科 城下 智 (じょうした さとる)
- SY2-2-2 HCV 関連初発 HCC 根治後の腫瘍進行及び予後規定因子の解析
 大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 池永 寛子 (いけなが ひろこ)
- SY2-2-3 HCV 排除後の CXCL10 動態は年齢と肝病態を反映し、肝発癌・生命予後予測におけるバイオマーカーとなる
 山梨大学肝疾患センター 前川 伸哉 (まえかわ しんや)
- SY2-2-4 肝癌を合併した C 型慢性肝疾患における DAA 治療の意義
 埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科 内田 義人 (うちだ よしひと)
- SY2-2-5 C型肝炎 SVR から長期経過後の前癌病変の多血化に関する検討
 福井大学医学系部門内科学 (2) 分野 田中 知子 (たなか ともこ)
- SY2-2-6 SVR 後肝発癌背景肝におけるミトコンドリア関連遺伝子の高発現とオートファジー経路の変容
 熊本大学病院消化器内科 長岡 克弥 (ながおか かつや)
- SY2-2-7 SVR12 判定時の因子を用いた DAA 治療後の食道胃静脈瘤増悪リスクの層別化
 愛媛大学医学部消化器・内分泌・代謝内科学 渡辺 崇夫 (わたなべ たかお)
- SY2-2-8 C 型慢性肝疾患における SVR 後の肝発癌および生命予後と代謝異常の関連
 東京医科歯科大学消化器内科 村川美也子 (むらかわ みやこ)
- SY2-2-9 直接作用型抗ウイルス薬による C 型肝炎ウイルス消失後の生命予後の検討
 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
 消化器疾患・生活習慣病学 馬渡 誠一 (まわたり せいいち)
- SY2-2-10 C 型非代償性肝硬変における direct-acting antiviral 治療後の生命予後および肝発癌リスク因子の検討—全国多施設共同研究—
 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 田畑 優貴 (たはた ゆうき)
- SY2-2-11 C 型慢性肝炎における Post-SVR10 年以降の肝癌発症リスク因子の検討 (10 年未満のリスク因子との比較)
 虎の門病院肝臓センター 内藤 宏 (ないとう ひろし)
- SY2-2-12 C 型慢性肝炎に対する DAA 治療による HCV 排除後の肝関連合併症および死亡率の長期推移—多施設共同研究—
 九州大学関連肝疾患治療研究会 小川 栄一 (おがわ えいいち)

International Japan Joint Symposium 3

Cutting edge of Steatotic Liver Diseases (SLD) in Asia

第 1 日目 6 月 13 日 (木)

第 1 部 8 : 30 ~ 9 : 30

第 2 部 9 : 30 ~ 11 : 30

第 3 会場 (熊本城ホール 3 階 A1)

第 1 部

司会 Takumi Kawaguchi Division of Gastroenterology, Department of Medicine, Kurume University School of Medicine

Grace Lai-Hung Wong Department of Medicine and Therapeutics, The Chinese University of Hong Kong

SY3-1-1 Not just a new name, but a better name - metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease (MASLD)

Medical Data Analytics Centre (MDAC),

The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China Grace Lai-Hung Wong

SY3-1-2 Screening strategies and noninvasive testing in metabolic-associated steatotic liver disease

Department of Internal Medicine, Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea Hye Won Lee

SY3-1-3 Effects of SGLT2 Inhibitor on Hepatic Fibrosis and Hepatocellular Carcinoma

Division of Gastroenterology, Department of Medicine,

Kurume University School of Medicine, Japan Takumi Kawaguchi

Steatotic Liver Diseases (SLD) 診療の Cutting edge (臨床)

第 2 部

司会 小野 正文 香川大学医学部肝・胆・膵内科学先端医療学
 角田 圭雄 国際医療福祉大学大学院医療福祉専攻
 Grace Lai-Hung Wong Department of Medicine and Therapeutics, The Chinese University of Hong Kong

- SY3-2-1 MASLD 診療における非侵襲的診断方法の最前線
 横浜市立大学肝胆膵消化器病学 米田 正人 (よねだ まさと)
- SY3-2-2 我が国における MetALD の臨床的特徴
 大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵病態内科学 藤井 英樹 (ふじい ひでき)
- SY3-2-3 MASLD における代謝要因と遺伝要因が肝疾患関連イベントに及ぼす影響についての検討
 京都府立医科大学消化器内科 瀬古 裕也 (せこ ゆうや)
- SY3-2-4 MASLD 患者の血清 GDF15 高値は病態進展の高リスク因子である
 大阪大学医学部附属病院消化器内科 熊崎 秀祐 (くまざき しゅうすけ)
- SY3-2-5 分子生物学的 MASLD サブタイプに基づく病気進行予測と病態解明の試み
 三重大学医学部附属病院消化器・肝臓内科 藤原 直人 (ふじわら なおと)
- SY3-2-6 MASLD の高齢者における FIB-4 高値は認知症リスクと関連する：A 市在住高齢者コホート研究
 熊本大学保健センター 長岡 舞子 (ながおか まいこ)
- SY3-2-7 Metabolic associated dysfunction steatosis liver disease における 4 型コラーゲン 7S と ELF test の線維化診断能の比較—多施設共同研究
 JR 大阪鉄道病院消化器内科 石破 博 (いしば ひろし)
- SY3-2-8 Quantitative MRI を用いた脂肪性肝疾患 (SLD) の亜分類とその予後
 大垣市民病院消化器内科 腰山 裕一 (こしやま ゆういち)
- SY3-2-9 MASLD に対する肝移植の現状と課題
 京都大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科 西尾 太宏 (にしお たかひろ)
- SY3-2-10 高中性脂肪血症合併 MASLD に対する Pemafibrate の治療効果に関与する特異的 microRNA の網羅的解析
 香川大学医学部附属病院消化器・神経内科 森下 朝洋 (もりした あさひろ)
- SY3-2-11 Steatotic liver disease (MASLD, MetALD, ALD) における肝関連イベント・心血管イベント・予後リスクの検討
 武蔵野赤十字病院消化器科 玉城 信治 (たまき のぶはる)

International Japan Joint Symposium 4

Cutting edge of Liver Fibrosis in Asia

第 2 日目 6 月 14 日 (金)

第 1 部 8 : 30 ~ 9 : 30

第 2 部 9 : 30 ~ 11 : 30

第 2 会場 (熊本城ホール 2 階 シビックホール)

第 1 部

司会 Norifumi Kawada Department of Hepatology, Osaka Metropolitan University School of
Medicine & Graduate

招請講演4 Liver Lymphatic Vascular System : New Insights into Health and Disease
Department of Internal Medicine, Section of Digestive Diseases, Yale University School of Medicine Yasuko Iwakiri
SY4-1-2 Anti-fibrotic Function of Metabotropic Glutamate Receptor 5 in NK Cells
Department of Graduate School of Medical Science and
Engineering (GSMSE), KAIST, Korea/
Center for the Hepatic Glutamate and Its Function, KAIST, Korea Won-Il Jeong

肝硬変：基礎から臨床 Cutting edge

第 2 部

- 司会 吉治 仁志 奈良県立医科大学消化器内科
 高見 太郎 山口大学大学院医学系研究科消化器内科学
 岩切 泰子 Department of Internal Medicine Section of Digestive Diseases, Yale University, School of Medicine
- SY4-2-1 TNFAIP3 を介した肝星細胞の制御機構の解析
 東京医科歯科大学消化器内科 渡壁 慶也 (わたかべ けいや)
- SY4-2-2 トロンボスポンジン 2 は MASLD における肝線維形成の重要な決定因子である
 信州大学消化器内科 木村 岳史 (きむら たけふみ)
- SY4-2-3 シングルセル Fixed RNA プロファイリングによる肝線維化の進行と回復における肝細胞と肝星細胞の多様性の解明
 大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 Minh Duc Pham
- SY4-2-4 肝臓再生療法における自己骨髄間葉系幹細胞由来細胞外小胞の作用機序の解析
 山口大学医学部附属病院消化器内科学講座 川本 大樹 (かわもと だいき)
- SY4-2-5 星細胞の脱活性化を基盤とする肝線維症に対する新たな治療戦略
 東海大学医学部医学科 稲垣 豊 (いながき ゆたか)
- SY4-2-6 類洞内圧亢進は LSEC の Integrin α V-YAP/TAZ-CTGF axis の活性化により肝病態を進展させる
 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 加藤 聖也 (かとう せいや)
- SY4-2-7 肝硬変におけるヒアルロン酸代謝異常は肝性脳症を誘導する
 国立国際医療研究センター
 肝炎免疫研究センター肝疾患研究部 松田 道隆 (まつだ みちたか)
- SY4-2-8 慢性肝疾患に併発する神経炎症を惹起する肝細胞由来臓器間病態伝達体
 三重大学大学院医学系研究科消化器内科 江口 暁子 (えぐち あきこ)
- SY4-2-9 M2BPGi 定量測定を使用した肝硬変診断に関する新規アルゴリズム開発
 北里大学病院消化器内科 魚嶋 晴紀 (うおしま はるき)
- SY4-2-10 慢性肝疾患患者における rapid turnover protein と予後に関する研究：レチノール結合蛋白の有用性
 岐阜大学医学部附属病院消化器内科 歌方 有貴 (うたかた ゆき)
- SY4-2-11 肝硬変患者における亜鉛製剤投与の予後改善及び発癌抑制効果に関する前向き検討
 労働者健康安全機構大阪労災病院消化器内科, 肝臓内科 法水 淳 (ほうすい あつし)
- SY4-2-12 肝硬変に伴う急性腎障害 (AKI) 病態予測における血漿 vWF/ADAMTS13 の有用性
 奈良県立医科大学消化器・代謝内科 鍛冶 孝祐 (かじ こうすけ)

International Japan Joint Symposium 5

Cutting edge of HCC clinical in Asia

第 2 日目 6 月 14 日 (金)

第 1 部 8 : 30 ~ 9 : 30

第 2 部 9 : 30 ~ 11 : 30

第 1 会場 (熊本城ホール 4 階 メインホール)

第 1 部

司会 Masafumi Ikeda Department of Hepatobiliary and Pancreatic Oncology, National Cancer Center Hospital East

Stephen Lam Chan Department of Clinical Oncology, The Chinese University of Hong Kong

- 基調講演 Cutting Edge of Treatment Strategy in Unresectable Hepatocellular Carcinoma
Department of Gastroenterology and Hepatology, Kindai University Faculty of Medicine, Japan Masatoshi Kudo
- SY5-1-2 Clinical Trial on Systemic Therapy for HCC : The Role of Asia
Department of Clinical Oncology, The Chinese University of Hong Kong Stephen Lam Chan
- SY5-1-3 Systemic Treatment for Hepatocellular Carcinoma (HCC) : How Can We Make Next Strides?
Department of Oncology, National Taiwan University Hospital Chih-Hung Hsu

免疫療法時代における肝癌診療

第 2 部

司会 加藤 直也 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学
 土谷 薫 武蔵野赤十字病院
 Chih-Hung Hsu Department of Oncology, National Taiwan University Hospital

- SY5-2-1 肝細胞癌に対する複合免疫療法の効果関連バイオマーカーの選定と個別化医療への提言
 横浜市立大学附属市民総合医療センター
 消化器病センター 中馬 誠 (ちゅうま まこと)
- SY5-2-2 シングルセルシーケンスを用いた切除不能進行肝細胞癌に対する複合免疫療法の治療効果
 予測因子の探索
 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 西尾 啓 (にしお あきら)
- SY5-2-3 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における durable response の意義
 武蔵野赤十字病院消化器内科 安井 豊 (やすい ゆたか)
- SY5-2-4 アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の画像的増悪様式に着目した切除不能肝細胞癌の
 後治療戦略と治療抵抗因子の解明
 熊本大学病院消化器内科 徳永 克之 (とくなが たかゆき)
- SY5-2-5 肝細胞癌に対する複合免疫療法に関する基礎的理論的根拠～ABC conversion, 肝動注による
 免疫誘導, Triplet therapy～
 久留米大学病院消化器内科 岩本 英希 (いわもと ひでき)
- SY5-2-6 実臨床における進行肝細胞癌に対する STRIDE 療法の課題：2 パターンの re-challenging の
 意義
 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学 小笠原定久 (おがさわら さだひさ)
- SY5-2-7 切除不能肝細胞癌に対するデュルバルマブ+トレメリムマブ併用療法の有効性と安全性に
 関する検討
 広島大学病院消化器内科 河岡 友和 (かわおか ともかず)
- SY5-2-8 デュルバルマブ/トレメリムマブ併用治療の初期治療効果の検討：特に先行免疫療法を有する
 症例における治療効果に着目して
 手稲溪仁会病院消化器内科 田中 一成 (たなか かずなり)
- SY5-2-9 進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ+トレメリムマブの薬剤耐性を予測する腫瘍循環 DNA
 を用いた新たな治療戦略
 香川大学医学部附属病院消化器・神経内科 森下 朝洋 (もりした あさひろ)
- SY5-2-10 進行肝細胞癌に対するレンパチニブ+シスプラチン肝動注併用療法の検討
 金沢大学附属病院消化器内科 山本 信 (やまもと まこと)

International Japan Joint Symposium 6

Cutting edge of HCC basic in Asia

第 1 日目 6 月 13 日 (木)

第 1 部 8:30~9:30

第 2 部 9:30~11:30

第 4 会場 (熊本城ホール 3 階 A2)

第 1 部

司会 Pei-Jer Chen Hepatitis Research Center, National Taiwan University and Hospital
Shinji Tanaka Department of Molecular Oncology, Tokyo Medical and Dental University

招請講演3 Opportunities for liver cancer prevention in Asian liver disease patients
University of Texas Southwestern, USA Yujin Hoshida

SY6-1-2 HBV DNA integration drives carcinogenesis and provides a DNA biomarker for subgrouping
and monitoring HBV-related HCC
Department of Microbiology, National Taiwan University College of Medicine Shiou-Hwei Yeh

特別発言
Department of Molecular Oncology, Tokyo Medical and Dental University Shinji Tanaka

肝癌研究の Cutting edge

第 2 部

司会 原田 憲一 金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理学
 小玉 尚宏 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学
 Pei-Jer Chen Hepatitis Research Center, National Taiwan University and Hospital

SY6-2-1 空間トランスクリプトーム解析によるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の治療抵抗に
 関与する分子・細胞間相互作用の検討

東京大学大学院新領域創成科学研究科

メディカル情報生命専攻/

岐阜大学大学院消化器病態学 大西 雅也 (おおにし まさや)

SY6-2-2 進行肝細胞癌におけるアテゾリズマブとベバシズマブの併用療法の有効性：腫瘍浸潤リンパ
 球との関連性の探究

千葉大学大学院医学研究院消化器内科学 小笠原定久 (おがさわら さだひさ)

SY6-2-3 臨床応用を目指した、肝細胞がん特異的抗原 glypican-3 を標的とする T 細胞受容体遺伝子
 改変 T (TCR-T) 細胞療法の開発

国立がん研究センター

先端医療開発センター免疫療法開発分野 寺田 剛 (てらだ つよし)

SY6-2-4 肝細胞がん由来エピトープペプチド 6 種をパルスした樹状細胞療法の開発

金沢大学附属病院消化器内科 中河 秀俊 (なかがわ ひでとし)

SY6-2-5 フォンタン関連肝疾患 (FALD) を背景とした肝細胞癌の全ゲノムシーケンシス (WGS) 解析
 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 山添 太士 (やまぞえ たいじ)

SY6-2-6 B 型肝炎ウイルスゲノムの KMT2B 領域への integration による肝発癌メカニズムの解析

東京医科歯科大学消化器内科 土屋 淳 (つちや じゅん)

SY6-2-7 肝細胞癌における ACSL4 発現の臨床的意義と空間的オミックス解析を用いた腫瘍微小環境と
 の関連の解明

九州大学消化器・総合外科 利田 賢哉 (としだ かつや)

SY6-2-8 空間オミックス解析を用いた PD-L1 (+) 腫瘍関連マクロファージと CD8T 細胞の近接性と肝癌
 進展機構の検討

福井大学医学系部門内科学 (2) 分野 野阪 拓人 (のさか たくと)

SY6-2-9 ジエチルニトロサミン処理サイトグロビンノックアウトマウスの微環境における LSECs-
 HSCs の細胞間相互作用

大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学/

大阪公立大学大学院医学研究科グローバル教育・医療学 Thi Thanh Thuy Le

SY6-2-10 炎症制御分子 REGNASE-1 による Intermediate monocytes を介した肝内胆管癌発症機構

大阪大学医学部附属病院消化器内科 佐藤 悠 (さとう ゆう)

特別発言

国際医療福祉大学医学部 坂元 亨宇 (さかもと みちい)